



# 国労西日本

国労西日本本部

NO.252

発行責任者 森田 文一  
編集責任者 片岡 有宏

安全を守る  
職場風土へ  
変える先頭に

国労西日本

## 井戸執行委員長挨拶要旨

### 「組織強化拡大」

この五年間で二百人を超える拡大があった。行動に参加した人数が昨年を上回ったことは、各機関・組合員の中で意識が高まったことと、関連労働者の加入が増えているのは、国労の存在・運動が目に見えている証である。しかし、組織拡大が年々困難になっていく状況にあり、目標達成には行動者数も大幅に増やさなければならぬという結果も出ている。労働組合は要求で団結するものであるが、世話役活動も大変重要である。労働条件改善、安全で安心な鉄道と職場の構築に向けて今一度、全組員の奮闘を。

### 「ローカル線問題」

三江線問題では、2018年3月の廃止が決定し、代替輸送の話が進んでいる。北海道社が発表した「単独では維持することが困難な線区」10路線13線区の対応を含め、全国のローカル線問題について国労として国交省に要請行動を行い、三江線での廃止に対するJR会社の対応で、「地元住民との丁寧な説明」が廃止ありきになっていると指摘を行ってきた。本部を中心に地元自治体・住民と連携し、ローカル線問題について取り組みを強化する必要がある。

### 「安全問題と労働条件改善」

全国的に重大事故が多発している。西日本会社においても、感電・墜落・触車という重大労災事故が安全行動計画の最中に発生。国労として申入れや労使安全会議で対策を求めてきた。新触防も、退避不良や気笛吹鳴事象が未だ多く発生している状況で、「なぜルールが守れないのか」「本当に必要なルールなのか」等の精査が求められている。近畿地本・大阪地区本部を中心に片町線・鳴野駅で多発する、車両とホームの「隙間転落」事故に対して、ホーム要員の設置を求める運動を地域を交えて取り組んでいる。

### 「貨物問題」

平成28年度の決算でJR発足から最高益となる経常利益を生み、「鉄道部門での黒字化」を達成したが、これは賃金削減などによる社員の犠牲の上に成り立ったもの。安全のために、家族も含め健康で明るい家庭と明るい職場とJRで働く全ての労働者と連携した取り組みが重要。



# 労働条件改善、安全確保、組織拡大に向け全職場から

## 第三一〇七年度定期西日本本部大会

### 安全で安心な職場と鉄道輸送の確立、一八春闘勝利

#### 労働法制改悪阻止など国民的課題の実現

国労西日本本部は八月五日、国労大阪会館において第三一〇七年度定期西日本本部大会を開催し、一年間の闘いの総括を行い、安全輸送の確立、労働条件の改善、組織拡大、一八春闘等、諸課題について今後一年間の闘う方針を確立しました。

大会は、職場・地域での様々な問題、新採問題をはじめとする組織強化・拡大に対する取り組み、ストライキを背景にした春闘における意思統一の取り組み、地域との共闘した闘いの報告など活発な議論が行われました。また、西日本本部委員の選出のほか、役員改選が行われ、新執行委員長に近畿地方本部の森田文一氏が選出されました。

大会は、代議員等の構成員、傍聴者を含め約一〇〇名が参加し、森口執行副委員長の司会で開会されました。

議長団には、議長に近畿地方本部選出の奥田代議員、副議長に同じく近畿地方本部選出の東代議員が選出され、来賓の皆さんからの連帯と激励のご挨拶と国労本部菊池執行委員長からの情勢を含めた挨拶を受けました。

その後、中野執行副委員長から経過報告、新田業務部長から協約・協定の締結承認の

提案と質疑、青木書記長から二〇一七年度運動方針（案）の提案があり、経過報告と運動方針（案）の討議が行われました。

### 拡大行動や

地方における取り組みなど

活発な発言相次ぐ

一六名の代議員から、①地方における運動と組織強化・拡大の取り組みについて、②バス職場の劣悪な労働条件に

ついて、③パワハラ等職場環境について、④シニア社員の団体交渉出席時の勤務認証と賃金の取り扱いについて、⑤支部・分会・職場における組織拡大の取り組みについて、⑥一七春闘における取り組みと共闘運動について、⑦薬物検査における対応について、⑧三江線廃止問題について、⑨契約社員の正社員化について、⑩二〇一八春闘に対する取り組みについて、⑪労働協約改訂における労働条件等の改善について、⑫病院における労

「組織強化拡大」 この五年間で二百人を超える拡大があった。行動に参加した人数が昨年を上回ったことは、各機関・組合員の中で意識が高まったことと、関連労働者の加入が増えているのは、国労の存在・運動が目に見えている証である。しかし、組織拡大が年々困難になっていく状況にあり、目標達成には行動者数も大幅に増やさなければならぬという結果も出ている。労働組合は要求で団結するものであるが、世話役活動も大変重要である。労働条件改善、安全で安心な鉄道と職場の構築に向けて今一度、全組員の奮闘を。

「安全問題と労働条件改善」 全国的に重大事故が多発している。西日本会社においても、感電・墜落・触車という重大労災事故が安全行動計画の最中に発生。国労として申入れや労使安全会議で対策を求めてきた。新触防も、退避不良や気笛吹鳴事象が未だ多く発生している状況で、「なぜルールが守れないのか」「本当に必要なルールなのか」等の精査が求められている。近畿地本・大阪地区本部を中心に片町線・鳴野駅で多発する、車両とホームの「隙間転落」事故に対して、ホーム要員の設置を求める運動を地域を交えて取り組んでいる。

「ローカル線問題」 三江線問題では、2018年3月の廃止が決定し、代替輸送の話が進んでいる。北海道社が発表した「単独では維持することが困難な線区」10路線13線区の対応を含め、全国のローカル線問題について国労として国交省に要請行動を行い、三江線での廃止に対するJR会社の対応で、「地元住民との丁寧な説明」が廃止ありきになっていると指摘を行ってきた。本部を中心に地元自治体・住民と連携し、ローカル線問題について取り組みを強化する必要がある。

「貨物問題」 平成28年度の決算でJR発足から最高益となる経常利益を生み、「鉄道部門での黒字化」を達成したが、これは賃金削減などによる社員の犠牲の上に成り立ったもの。安全のために、家族も含め健康で明るい家庭と明るい職場とJRで働く全ての労働者と連携した取り組みが重要。

働実態について、⑬新幹線車両故障及びインシデントデントについて、⑭鳴野駅転落多発をはじめとするホームの安全問題についてなど、各地方や職場における問題点や取り組み、運動の成果について発言がありました。

佐々木本部執行副委員長から「①2017年春闘について」、新田西日本本部業務部長からは「①シニア社員の団交出席時の賃金の取り扱いについて、②更衣時間の労働時間化等について、③新触車事故防止準則と安全問題について、④契約社員の課題解決について答弁。木元執行委員から「①貨物会社の事業計画について」の答弁があり、

また、青木書記長から①組織強化拡大について②一八春闘について、③合理化反対、労働条件改善の闘い、④新規採用者問題、⑤戦争法廃案など共闘・平和と民主主義を守る闘いについて、⑥ストライキに対する西日本本部としての行動等、集約が行われ、全代議員の大きな拍手で運動方針(案)が採択されました。

その後、「二〇一六年度決算報告」「二〇一七年度予算(案)」について

て報告と提案があり採択されました。

大北選挙管理委員長からは、西日本本部委員と西日本本部役員改選結果について報告があり、新執行委員長に近畿地方本部の森田文一氏が選出されました。この大会をもって

退任された、井戸執行委員長、森口執行副委員長、三宅執行委員、強田執行委員、羽柴執行委員、藤井会計監査員の方々、大変お疲れ様でした。

また、ストライキ権について投票を行い、全代議員の賛成でストライキ権が確立されました。その後、平岡女性部長が大会宣言案を読み上げ、

満場一致で採択し、森田新執行委員長による力強い「團結カンパロウ」を三唱し、定期大会を終了しました。



**組織拡大、労働条件改善、安全輸送の確立に向け**

**全組合員団結して闘いを進めよう**

国労西日本本部新執行部		
役職	氏名	地本
執行委員長	森田文一	近畿地本
執行副委員長	藤野能章	北陸地本
執行副委員長	中野健二	広島地本
書記長	青木達夫	近畿地本
執行委員	倉下文明	米子地本
執行委員	新田敏雄	近畿地本
執行委員	片岡有宏	岡山地本
執行委員	木元昌	近畿地本
執行委員	中本博次	近畿地本
特別執行委員	井戸敏光	近畿地本
会計監査	福井和義	近畿地本
会計監査	岡出智浩	近畿地本
青年部長	大北真也	近畿地本
女性部長	平岡千鳥	近畿地本

**【来賓の皆さん】**

日本共産党 辰巳参議院議員  
社会民主党 服部大阪府連合代表  
大阪労連 川辺議長  
JAL不当解雇 撤回裁判原告団 西岡氏  
交通共済西日本事業本部 小川事業本部長 志連主幹  
国労本部 菊池執行委員長 佐々木執行副委員長 羽生会計監査員

第三一回定期西日本本部大会で選出された、西日本本部委員の皆さんは、左記の方々です。

岩山淳	広島地方本部	漆迫清	米子地方本部	青山准三	岡山地方本部	西蘭重美	田中讓二	若木慎吾	辻将城	多賀野修	山脇浩志	近畿地方本部	大巻道秋	北陸地方本部	西日本本部委員
-----	--------	-----	--------	------	--------	------	------	------	-----	------	------	--------	------	--------	---------

**〈新 生きるためのがん保険Days〉**  
Aプラン 入院給付金日額10,000円 保険期間:終身(抗がん剤治療給付金)は10年更新

診断 給付金	入院 給付金	通院 給付金	手術 治療給付金	放射線 治療給付金	抗がん剤 治療給付金
一時金として 1回限り がん <b>100万円</b> 1回限り 上皮内 新生物 <b>10万円</b>	1日目から 日数無制限 1日につき <b>10,000円</b>	三大治療のための 通院は日数無制限 退院後365日以内の 通院な5日数無制限 1日につき <b>10,000円</b>	一連の手術については 14日間に1回 回数無制限 1回につき <b>20万円</b>	60日に1回 回数無制限 1回につき <b>20万円</b>	入院しなくても 治療を受けた月ごと <b>10万円</b> (給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんの ホルモン療法のと <b>5万円</b> (給付倍率1倍) 更新後の保険期間を含め 通算600万円まで

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)  
**アベニール株式会社**  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル5F  
TEL: 03-3437-6810

〈引受保険会社〉  
「生きる」を創る。  
**Affac**  
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル  
TEL: 03-6385-9829 FAX: 03-3344-2658  
AF広宣課-2016-0033-1609024 6月7日